

# 政策調整会議の概要

開催日 令和8年4月9日（木）

## ◎項目

- 1 令和8年2月時間外勤務状況
- 2 公務の適正な執行と綱紀の粛正について
- 3 高知県文化芸術振興ビジョンの改定について
- 4 その他

## ◎内容

### 1 令和8年2月時間外勤務状況【総務部】

#### ○行政管理課長

令和8年2月の時間外勤務は、前年同期と比較して、総計11.7%減、本庁12.2%減、出先11.8%減であった。令和6年度と令和7年度の4月から2月までの時間外勤務累計比較は総計7.6%減であり、月45時間超の職員数は総計180人減であった。

3月30日、働き方改革のタスクフォースとモデルチームによる取組状況の最終共有会を開催した。この会では、タスクフォースから部局長が取り組んだ本部会議の見直しや意識改革の取り組みなどを報告していただくとともに、モデルチームからは、朝会を通じたコミュニケーションの活性化、申請手続の電子化、部長レクが長時間にならないためのタイマー設置など、工夫を凝らしたアイデアの実践報告があった。中には、一つの業務で年間800時間の業務量の削減に繋がった事例の報告もあった。これらの情報は、行政管理課のイントラに掲載しているもので、職員に周知するとともに、各所属における取り組みの参考にしていただきたい。

なお、今年度の時間外縮減の目標設定を各部局にお願いしているが、4月10日までに提出をお願いします。

### 2 公務の適正な執行と綱紀の粛正について【総務部】

#### ○行政管理課長

報道等でご承知のとおり、県立美術館において建築基準法に基づく点検の未実施が判明し、これを受けて全庁調査を行ったところ、県が管理する他の一部の施設においても建築基準法に基づく点検が未実施だったことが判明した。

また、県立大学においてキャンパスの工事の際に貴重な美術品の前に多目的トイレが設置されていた案件、令和7年度の包括外部監査で県営住宅のずさんな管理を指摘された案件があった。

法令遵守ができていなかったことに加え、全ての事例で、組織内で必要な情報が共有されてなかったり、引き継ぎがされていなかったことに問題があると考えます。こうしたことを防ぐために、目標設定の面談の際に管理職と職員の間で仕事上の心配事などを抱え込んでいないか共有できる目標設定シートの様式を変更している。この後発出する通知文書と目標設定の手続変更について、部局内で周知していただ

き、適正な業務管理を進めていただくようお願いする。

### 3 高知県文化芸術振興ビジョンの改定について【文化生活部】

○文化振興課長

令和9年度からの次期・高知県文化芸術振興ビジョンの施行に向けて、今年度改定作業を行う。このビジョンは、昨年度の指定管理施設の問題も含め、いろいろと注目を集めている。

年間を通じてビジョン評価委員会を都度開催するので、各部局には総括・照会等の作業についてご協力をお願いする。

### 4 その他

○総務部副部長

人事委員会事務局から、4月10日に、令和8年度高知県職員採用試験（大学卒業程度、社会人経験者等）の案内を公表する予定。現在、高知県庁の採用は厳しい状況なので、知人や関係団体などに周知をお願いしたい。

○産業振興推進部副部長

所得向上推進企業等総合支援事業費補助金について、4月10日にオンラインでの説明会を予定しているが、事業者の皆様にご関心をもっていていただき、2～3日前に接続上限の500人を超えた。一次の募集期間を4月20日から5月20日としているが、この期間にかなりの申請が予想される。各部局の兼務の職員にはお手数をおかけするが、引き続き、ご協力をお願いする。

### 副知事

新年度が始まって1週間が過ぎたが、部局長や副部長の顔ぶれが大きく変わったし、職員もだいぶ入れ替わったと思うので、抜けがないように十分注意してもらいたい。

業務概要委員会の対応もしっかりとお願いする。